

平成29年5月16日公表

平成28年産りんごの結果樹面積、収穫量及び出荷量

— りんごの収穫量は、前年産に比べ6%減少 —

【調査結果の概要】

- 1 結果樹面積^(注)は3万6,800haで、前年産に比べ200ha(1%)減少した。
- 2 収穫量は76万5,000t、出荷量は68万4,900tで、前年産に比べそれぞれ4万6,500t(6%)、4万2,800t(6%)減少した。
- 3 品種別にみた収穫量割合は、ふじが約5割を占めている。

図1 りんごの結果樹面積、収穫量及び出荷量

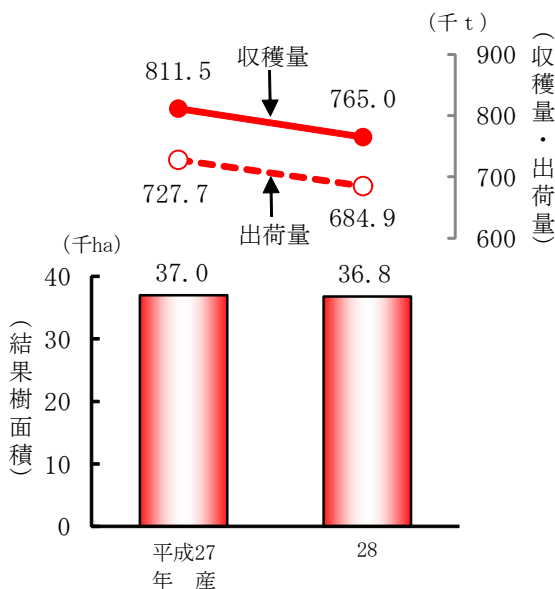
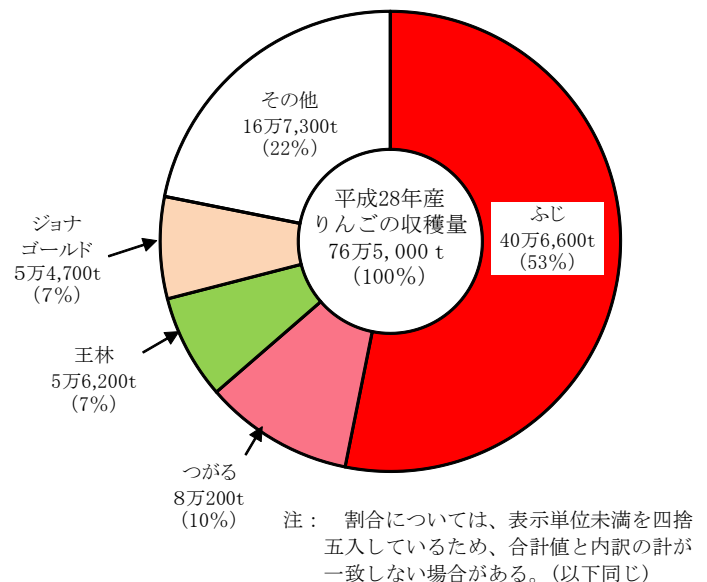


図2 りんごの品種別収穫量



注：結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。

本資料は、農林水産省ホームページの「統計情報」から御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 果実を安定的に供給するための生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適正な運営のための資料

◎ 累年データ

りんごの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

1 りんご計

2 ふじ

区 分	1 りんご計				2 ふじ			
	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成19年産	39,900	2,110	840,100	748,700	20,500	2,290	468,400	415,900
20	39,500	2,310	910,700	809,600	20,300	2,490	505,800	448,300
21	38,800	2,180	845,600	751,200	20,100	2,370	475,700	420,800
22	38,100	2,060	786,500	697,800	19,900	2,210	440,100	388,500
23	37,800	1,730	655,300	582,000	19,700	1,790	351,800	311,600
24	37,400	2,120	793,800	708,400	19,500	2,220	432,100	385,000
25	37,200	1,990	741,700	660,700	19,400	2,040	396,600	356,500
26	37,100	2,200	816,300	730,800	19,300	2,260	436,300	393,100
27	37,000	2,190	811,500	727,700	19,100	2,250	430,600	387,500
28 (概数)	36,800	2,080	765,000	684,900	19,000	2,140	406,600	364,900

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』（以下5まで同じ。）

3 つがる

4 王林

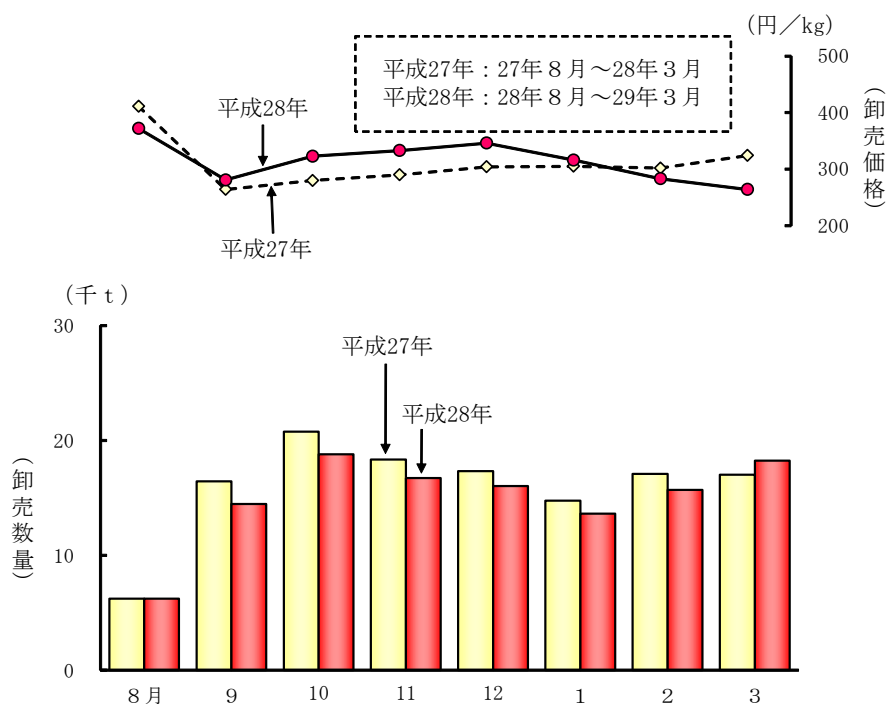
区 分	3 つがる				4 王林			
	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成19年産	5,370	1,860	99,900	88,200	3,560	1,990	70,900	64,000
20	5,320	1,980	105,400	93,200	3,490	2,130	74,200	66,500
21	5,250	1,840	96,700	86,100	3,430	1,950	67,000	59,600
22	5,190	1,630	84,400	74,800	3,300	2,100	69,200	61,900
23	5,080	1,660	84,300	74,600	3,200	1,600	51,100	45,700
24	4,990	1,730	86,200	76,600	3,130	2,090	65,300	58,900
25	4,950	1,730	85,600	75,500	3,010	1,980	59,600	54,000
26	4,880	1,880	91,700	81,000	2,980	2,020	60,300	54,200
27	4,820	1,860	89,700	79,300	2,930	2,100	61,400	54,800
28 (概数)	4,750	1,690	80,200	70,800	2,870	1,960	56,200	50,400

5 ジョナゴールド

区 分	5 ジョナゴールド			
	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t
平成19年産	3,480	2,140	74,600	67,900
20	3,400	2,350	80,000	72,600
21	3,170	2,150	68,100	60,200
22	3,030	2,000	60,600	54,300
23	2,870	1,740	49,800	44,700
24	2,800	2,090	58,500	52,600
25	2,700	1,900	51,400	47,100
26	2,660	2,130	56,600	51,600
27	2,620	2,150	56,300	51,200
28 (概数)	2,590	2,110	54,700	49,700

◎ 関連データ

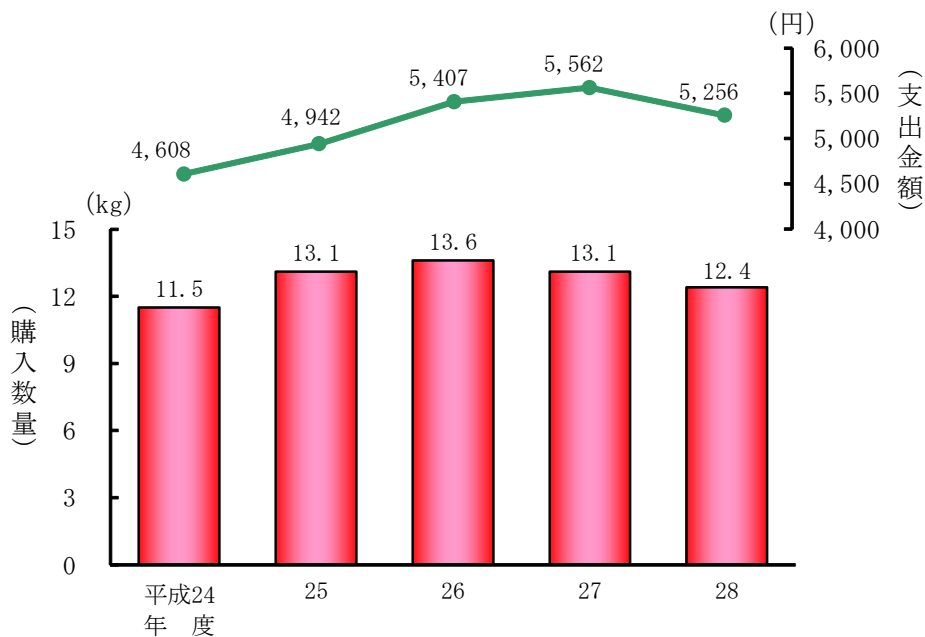
1 りんごの卸売数量及び卸売価格の推移



資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」

注：全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を積み上げて算出したものである。

2 りんごの1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」（家計収支編）（二人以上の世帯）

注：数値は、月別値を積み上げて算出したものである。

【調査結果】

1 結果樹面積は3万6,800haで、前年産に比べ200ha（1%）減少した。

2 10a当たり収量は2,080kgで、前年産に比べ110kg（5%）下回った。

これは、開花期における低温の影響で着果数が少なかったことと、6月の日照不足及び8月の少雨の影響で果実の肥大が抑制されたためである。

3 収穫量は76万5,000t、出荷量は68万4,900tで、前年産に比べそれぞれ4万6,500t（6%）、4万2,800t（6%）減少した。

4 都道府県別にみた収穫量割合は、青森県が59%、長野県が19%となっており、この2県で全国の約8割を占めている。

図3 りんごの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移

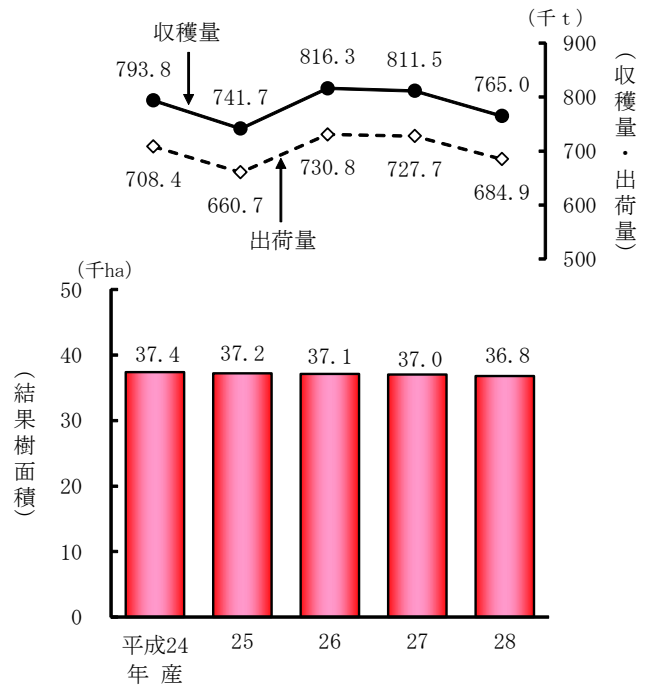


図4 りんごの都道府県別収穫量

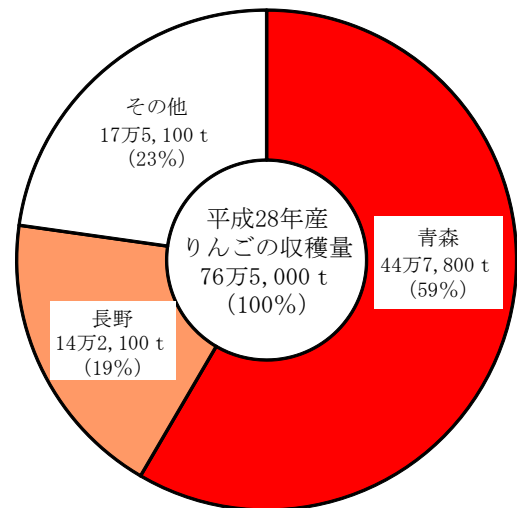


表 平成28年産りんごの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

品目・品種	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量		出荷量	対前年産比			
			実数	割合		結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%
りんご	36,800	2,080	765,000	100	684,900	99	95	94	94
うちふじ	19,000	2,140	406,600	53	364,900	99	95	94	94
つがる	4,750	1,690	80,200	10	70,800	99	91	89	89
王林	2,870	1,960	56,200	7	50,400	98	93	92	92
ジョナゴールド	2,590	2,110	54,700	7	49,700	99	98	97	97

【統計表】

統計表一覧

平成28年産りんごの結果樹面積、10 a 当たり収量、収穫量及び出荷量		ページ
1	りんご計 -----	6
2	ふじ -----	6
3	つがる -----	7
4	王林 -----	7
5	ジョナゴールド -----	8

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数	6桁 (10万)	5桁 (万)	4桁 (1,000)	3桁 (100)	
四捨五入する桁（下から）	2桁		1桁	四捨五入 しな い	
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
「0」： 単位に満たないもの（例：0.4ha → 0ha）
「nc」： 計算不能
- 3 この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成28年産りんごの結果樹面積、収穫量及び出荷量」（農林水産省）による旨を記載してください。

平成28年産りんごの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

1 りんご計

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	36,800	2,080	765,000	684,900	99	95	94	94
うち 北海道	506	1,500	7,590	7,010	97	102	99	99
青 森	19,900	2,250	447,800	406,300	100	96	95	95
岩 手	2,370	1,850	43,800	37,800	100	91	90	90
宮 城	222	1,560	3,460	2,940	96	97	93	92
秋 田	1,370	1,790	24,500	22,200	99	108	107	109
山 形	2,250	2,030	45,700	39,900	100	91	90	90
福 島	1,260	2,140	27,000	23,700	99	103	103	103
群 馬	417	2,080	8,670	7,520	100	94	93	91
富 山	98	1,390	1,360	1,190	99	91	90	90
石 川	48	1,360	653	563	100	87	87	86
山 梨	55	1,570	864	740	98	96	95	95
長 野	7,560	1,880	142,100	125,000	99	91	90	90
岐 阜	88	2,230	1,960	1,770	98	101	98	99
広 島	83	1,700	1,410	1,360	102	97	99	100

注：主産県を対象に調査を実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した（以下の統計表において同じ。）。

2 ふじ

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	19,000	2,140	406,600	364,900	99	95	94	94
うち 北海道	101	1,510	1,530	1,410	100	102	103	104
青 森	9,600	2,340	224,600	205,600	99	96	95	95
岩 手	1,020	1,940	19,800	17,200	100	90	90	91
宮 城	129	1,650	2,130	1,800	96	97	93	92
秋 田	872	1,840	16,000	14,500	99	112	110	113
山 形	1,250	2,060	25,800	22,500	99	90	90	89
福 島	903	2,220	20,000	17,600	99	104	103	103
群 馬	183	2,130	3,900	3,390	101	94	94	92
富 山	72	1,410	1,020	898	100	92	93	92
石 川	24	1,450	348	294	96	90	86	87
山 梨	15	1,550	233	199	100	96	96	96
長 野	4,420	1,930	85,300	74,300	99	91	90	90
岐 阜	36	2,360	850	770	95	103	97	97
広 島	39	1,960	764	732	103	105	107	107

3 つがる

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	4,750	1,690	80,200	70,800	99	91	89	89
うち 北海道	137	1,560	2,140	1,980	98	99	97	96
青 森	2,280	1,890	43,100	38,200	100	86	86	85
岩 手	260	1,730	4,500	3,870	99	90	89	90
宮 城	27	1,440	389	333	96	95	92	91
秋 田	45	1,490	671	591	90	108	97	97
山 形	247	1,930	4,770	4,200	99	108	107	107
福 島	109	1,800	1,960	1,750	98	102	101	101
群 馬	41	2,130	873	763	98	93	91	89
富 山	4	1,510	60	50	100	91	91	88
石 川	8	1,180	94	80	100	83	82	85
山 梨	34	1,640	558	479	97	96	94	94
長 野	1,460	1,350	19,700	17,300	96	96	92	93
岐 阜	17	2,280	388	348	100	101	101	101
広 島	7	1,700	119	115	100	99	99	99

4 王林

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	2,870	1,960	56,200	50,400	98	93	92	92
うち 北海道	23	1,760	405	369	100	103	103	104
青 森	2,170	2,060	44,700	40,400	100	92	92	93
岩 手	171	1,720	2,940	2,530	94	90	84	85
宮 城	12	1,330	160	138	92	100	92	93
秋 田	95	1,590	1,510	1,350	85	101	86	87
山 形	124	1,830	2,270	1,960	100	97	97	97
福 島	48	1,840	883	776	100	104	104	103
群 馬	2	1,560	31	30	67	91	61	88
富 山	6	1,190	71	54	100	92	92	92
石 川	2	820	16	16	200	45	89	89
山 梨	3	1,290	39	34	100	96	98	97
長 野	173	1,480	2,560	2,180	89	93	83	82
岐 阜	3	1,900	57	49	100	99	100	96
広 島	3	1,610	48	44	100	98	96	96

平成28年産りんごの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（続き）

5 ジョナゴールド

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	2,590	2,110	54,700	49,700	99	98	97	97
うち 北海道	23	1,450	334	306	100	105	105	105
青 森	2,020	2,190	44,200	40,500	99	100	99	99
岩 手	391	1,940	7,590	6,620	99	90	90	91
宮 城	10	1,580	158	135	100	103	103	100
秋 田	11	1,630	179	164	65	102	66	68
山 形	19	1,660	315	266	95	105	100	100
福 島	45	1,850	833	731	96	102	98	96
群 馬	2	2,130	43	41	100	93	93	91
富 山	0	1,400	1	1	nc	82	50	50
石 川	0	1,500	6	6	nc	86	86	86
山 梨	0	1,220	2	1	nc	98	100	100
長 野	33	1,810	597	513	89	93	83	83
岐 阜	4	1,600	64	58	80	101	81	82
広 島	6	1,850	111	106	100	116	117	118

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業災害補償法に基づく果樹共済事業の適正な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

全ての都道府県を調査対象とする全国調査を5年ごとに実施しており（直近では平成26年産）、その中間年に当たる本年産にあつては、調査対象品目ごとに、全国調査年における出荷量の全国値のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県（果実需給安定対策事業を実施する都道府県を含む。）を調査の範囲（主産県）としている。

(2) 調査対象の選定

ア 関係団体調査（全数調査）

調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

イ 標本経営体調査（標本調査）

2015年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で栽培した農林業経営体から無作為に抽出（母集団名簿の栽培面積を昇順に並べ替え、栽培面積規模別に設定した標本の大きさに応じて等間隔に抽出する方法（系統抽出法）により抽出）をした。

(3) 調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効 回収数 ②	有効 回収率 ③=②/①	母集団 の大きさ ④	調査対象 経営体数 ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効 回収数 ⑦	有効 回収率 ⑧=⑦/⑤
りんご	団体 238	団体 221	% 92.9	経営体 38,590	経営体 1,545	% 4.0	経営体 1,003	% 64.9

注：「有効回収数」は、回収があつたもののうち、当年産において栽培がなかった標本経営体等を除いた数値である。

3 調査事項

(1) 関係団体調査

調査対象品目の結果樹面積及び出荷量

(2) 標本経営体調査

調査対象品目の結果樹面積、収穫量及び出荷量

4 調査期日

収穫・出荷終了時

この調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品目	主たる収穫期間
りんご	平成28年8月～11月

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

(1) 都道府県値

結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積りにより補完している。

収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた結果樹面積、収穫量及び出荷量を基に算出した10 a 当たり収量（関係団体調査においては、標本経営体調査結果による自家消費等の量を勘案して算出）を、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完し、これに結果樹面積を乗じて算出している。

なお、調査結果により算出した各都道府県の10 a 当たり収量は、調査対象品目について関係団体取扱数量の割合がおおむね80%以上の場合は関係団体調査結果を、おおむね80%未満の場合は標本経営体調査結果を採用している。

出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた出荷率等を基に算出している。

(2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国調査を行った平成26年産の調査結果を用いて次により推計した。

ア 結果樹面積（りんご(計)）

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \text{結果樹面積の主産県値} + \frac{\text{結果樹面積の主産県値}}{\text{栽培面積の主産県値}} \times (\text{栽培面積の全国値} - \text{栽培面積の主産県値})$$

注：「栽培面積」は、農林水産省大臣官房統計部が平成28年10月に公表した「平成28年果樹及び茶栽培面積（7月15日現在）」による。

イ 結果樹面積（りんごの各品種）、収穫量及び出荷量

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \frac{\text{平成26年産の全国値} \times \text{当年産の主産県値}}{\text{平成26年産の主産県値}}$$

7 目標精度

本調査において、目標精度は設定していない。

8 用語の解説

- (1) 結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- (2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (3) 出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費量、生産物を贈与した量等を差し引いた重量をいう。

9 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（平成29年12月予定）するとともに、その後刊行する『平成28年産果樹生産出荷統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。
【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】
この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「果樹」に分類しています。

【関連リンク】

果樹関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ＞果樹施策の概要

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/pdf/kajyu427.pdf>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 園芸統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3680
（直通）03-6744-2044
FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 広報普及班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037
FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)
<http://www.e-stat.go.jp/>